

平成 28 年 5 月 19 日

網走漁協 ホタテガイ採苗関連調査結果

網走東部地区水産技術普及指導所

能取沖の水温がやや上昇し、ケイ藻も減ってきました。

- ホタテガイ浮遊幼生は、能取沖で 200 μ m 前後のものが確認されましたが、数は少ない状況です。
- 水温は、能取沖で 6~7℃ と上昇してきましたが、6号定置は表層を除き 4℃ 台と、依然低い状況です。
- 能取沖は小型ケイ藻が減りましたが、4号と6号定置は多い状況です。

表1 ホタテ浮遊幼生出現数

調査月日	5月18日		
	能取岬	4号定置	6号定置
水深(m)	18.5	19	20
曳網水深(m)	17	17	17
殻長(μ m)	トン当たり	トン当たり	トン当たり
120			
130			
140			
150			
160			
170			
180			
190	1.7		
200	1.7		
210	0.8		
220	1.7		
230			
240			
250			
260	0.8		
270	0.8		
280			
290			
300			
310			
320			
330			
合計	7.5	0	
その他二枚貝	37.5	2.5	

表2 水温・塩分観測結果

水深(m)	能取岬		4号		6号	
	水温(°C)	塩分(PSU)	水温(°C)	塩分(PSU)	水温(°C)	塩分(PSU)
0	7.37	32.82	-	-	6.06	31.77
5	7.02	32.97	-	-	4.32	32.72
10	6.95	33.01	-	-	4.12	32.82
15	6.79	33.00	-	-	4.08	32.84
底層	6.72	33.02	-	-	4.07	32.83